

## 徳島県歯科技工士会 第 102 回生涯研修（自由研修課程）

2024 年 1 月 21 日（日）

講師：前川泰一先生

### 【演題】

アナログ技工のデジタル化

～シーケンシャルオクルージョンのコンセプトを臨床に取り入れる～

### 【抄録】

近年の歯科業界全体のデジタル化は目まぐるしいものがあり、AI の進歩により補綴装置の製作方法もどんどんと変わりつつある。私達はその変化に対応すべく、日々情報を集め自身の常識を書き換えて行かなければならない。しかしそんな中でも不変の理論は存在する。その一つが咬合学だと考えている。中でもシーケンシャルオクルージョンの概念は何年も前から咬合を可視化し、デジタル機器を駆使して咬合治療を行なってきた。そのコンセプトも時代と共に進化発展し更なるデジタル化が進んでいる。私達は不変の理論を学びそれを軸とし、そこにデジタルの要素を少しずつでも取り入れて発展させて行けば良いのではないかと考えている。今までに培って来たアナログの知識や経験にデジタルを加える事で、更に素晴らしい補綴装置が患者に提供できるのではないかと考えます。